

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	ほどがや市民活動センター アワーズ																			
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 横浜市民アクト																		
	行政	横浜市																		
事業の目的	市民活動及び生涯学習の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。																			
事業の内容	(1) 活動場所の提供 (2) 情報の提供 (3) 相談・コーディネート (4) 講習会・研修会などの自主事業 (5) その他市民活動及び生涯学習推進に必要な支援																			
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。																			
	事業項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受託者の役割</th> <th>委託者の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 市民公益活動等のネットワーク化</td> <td>1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>2 市民公益活動に関する相談対応</td> <td>2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集</td> <td>3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供</td> <td>4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施</td> <td>5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>6 区民利用施設等との連携による活動支援</td> <td>6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>7 自主企画事業の企画・実施</td> <td>7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力</td> </tr> <tr> <td>8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援</td> <td>8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力</td> </tr> </tbody> </table>	受託者の役割	委託者の役割	1 市民公益活動等のネットワーク化	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力	2 市民公益活動に関する相談対応	2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力	6 区民利用施設等との連携による活動支援	6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力	7 自主企画事業の企画・実施	7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力
	受託者の役割	委託者の役割																		
1 市民公益活動等のネットワーク化	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力																			
2 市民公益活動に関する相談対応	2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力																			
3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集	3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力																			
4 市民公益活動等に関する活動の場の提供	4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力																			
5 地域人材ボランティアバンク事業の実施	5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力																			
6 区民利用施設等との連携による活動支援	6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力																			
7 自主企画事業の企画・実施	7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力																			
8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援	8 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力																			
施設の運営全般に関わること	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 設備の管理、保守・点検</td> <td>1 設備の提供</td> </tr> <tr> <td>2 軽微な維持修繕</td> <td>2 設備管理に関する調整及</td> </tr> </tbody> </table>	1 設備の管理、保守・点検	1 設備の提供	2 軽微な維持修繕	2 設備管理に関する調整及															
1 設備の管理、保守・点検	1 設備の提供																			
2 軽微な維持修繕	2 設備管理に関する調整及																			
施設の管理全般に関すること																				

			び協力
	事務改善に関する取組に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用者ニーズの把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 「ほ도가や市民活動センター協働運営会議」との調整・協議 4 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用者ニーズの把握とサービス向上についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる事業の検証 3 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催についての調整・協力
	その他市民活動センターの管理運営等にあたり、必要となる事務事業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用統計に関する業務 2 管理運営事業団体として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究 4 その他区が行う市民公益活動等に関する施設・事業等への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整
実施期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日まで		

記入日	令和 3 年 6 月 22 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 特定非営利活動法人 横浜市民アクト ・記入責任者 氏名： 北川 有紀 連絡先： 045-334-6306
	[行政] ・部署名： 保土ヶ谷区地域振興課 ・記入責任者 氏名： 椎葉 秀幸 連絡先： 045-334-6307

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・人や団体とのつながりづくりや以前の様な多くの参加が見込めない場合、事前に協議し対応を決めることができた。
【今後改善が必要と思われること】 ・コロナ禍に伴う事業の計画変更が起きた際でも、柔軟に対応できるような事業の枠組みを検討する。 ・今回のコロナの様な不測の事態に備え、組織同士のコミュニケーションの必要性を実感した。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・「ほどガヤ防災塾」では、学生目線で初心者でも分かりやすい動画を作成することで、地域の防災について視聴者が学べる機会を提供できた。 ・来館者もほぼいない時期に2名のインターン生を個別に受け入れた。従来のようなグループ活動ができない中で、資源循環事務所のみなさんの計らいで資源選別センターの見学をさせていただく等、協力相談しながら活動を作り出すことができた。 ・「ほどがやサンプラプロジェクト」は、オンラインを活用するなど、コロナ禍でも地域の参加者が集える場づくりができた。また、保土ヶ谷小学校の子どもたちと相鉄とのつながりをつくることもできた。
【今後改善が必要と思われること】 ・感染症対策や事業中止の指標について共通認識を持つことで、参加者等への情報周知漏れが起きないようにする。 ・感染拡大が続く中で、ただ制限をかけるだけではない、市民活動センターの在り方を様々な地域の同じ取り組みをしている関係者と議論を重ねる必要を感じた。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・情報の受発信では、情報紙の発行が年度後半の2回となりメルマガ配信は月1回とどちらも半減となったが、掲載内容を工夫することを含め事前に方向性を協議したことが良かった。 ・夏までほぼ事業実施ができない状態が続いたが、インターン生の活動やサンプラプロジェクトで若者たちが「何かをしたい」と強い気持ちをもって活動を始めたことで、センターとしても次の動きをとれるようになった印象があり、そうした新しく活動に加わる人たちの力が今後必要だと感じた。
自由記入欄
・ホームページやSNSを使用し、最新の情報を広く周知することで市民の混乱を避けることができた。 ・従来の「利用者アンケート」を計画変更し、全登録団体向けに自粛期間の活動状況について確認するアンケートを実施し、85%もの団体が活動減少などの影響を受けていることが分かり、その他の自由記述も記載も多く、現状を詳しく把握することができた。